

安全データシート

Roxtec Assembly Gel EX / Roxtec Assembly Gel White

項目 1: 物質/製剤および会社/企業の特定

1.1. 製品識別子

製品名

Roxtec Assembly Gel EX / Roxtec Assembly Gel White

製品番号

178112

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

物質または混合物で関連の特定使用

潤滑剤

業務用・工業用に限る。

対提言使用

不明。

1.3. 安全データシートの供給業者の詳細

会社と住所

Roxtec International AB

Box 540

371 23 Karlskrona

Sverige

+46 455 36 67 00

+46 455 820 12

販売元

Roxtec Japan K.K.

VORT Hamamatsucho 1F,

1-6-15 Hamamatsucho Minato-ku

105-0013 Tokyo

Japan

電話番号: +81 3 4550 0730

ロクステック・ジャパン株式会社

105-0013 東京都港区浜松町1 - 6 - 1 5

VORT浜松町1階

担当者

Roxtec International AB

電子メール

info@roxtec.com

SDS 日付

2026/05/07

SDS バージョン

1.0

前作成日

2026/04/20 (1.0)

1.4. 緊急連絡用電話番号 (受付時間)

緊急時には119 (24時間サービス) に電話すること

公益財団法人 日本中毒情報センター: +81-72-727-2499

項目4を参照: 応急措置

項目2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.2. ラベル要素

危険有害性の絵文字

該当なし.

注意喚起語

該当なし.

危険有害性情報

該当なし.

注意書き

概要

該当なし.

安全対策

該当なし.

応急措置

該当なし.

保管

該当なし.

廃棄

該当なし.

危険有害性成分

ラベルに記載する必要のある物質は含まれていません。

追加ラベル付け

項目3: 組成及び成分情報

3.1. 成分

該当なし. この製品は混合物です。

3.2. 混合物

ラベルに記載する必要のある物質は含まれていません。

セクション16のHフレーズの全文を参照のこと。職業ばく露限界は利用可能な場合は、セクション8に記載されている。

その他の情報

-

項目4: 応急措置

4.1. 応急処置の解説

一般情報

事故の場合：医師または緊急部門に連絡すること - ラベルまたはこの安全データシートを持参する。

被害者の状態に疑問がある場合、または症状が継続する場合は、医師に連絡すること。絶対に意識不明の人に水やその他の飲み物を与えないこと。

吸入した場合

呼吸困難や気道を刺激した場合：被害者が新鮮な空気を吸える場所に移動し、一緒に付き添う。

不快感が生じた場合は医師に相談してください。

皮膚に付着した場合

石鹼と水でよく洗ってください。汚れた衣類は脱ぎ、再使用する前に洗濯してください。

不快感が生じた場合は医師に相談してください。

眼に入った場合

目をよく洗い、コンタクトレンズが簡単に外れる場合は外し、洗い続けてください。不快感が続く場合は医師に相談してください。

飲み込んだ場合

口をすすぎ、水をすべて吐き出してください。医療従事者から指示がない限り、嘔吐を誘発しないでください。意識不明の人に飲食をさせないでください。

不快感が生じた場合は医師に相談してください。

やけど

該当なし。

4.2. 重大な症状と作用の大部分には、急性および遅延性の両方がある食物は消化管の炎症や下痢を引き起こす可能性があります。

4.3. 何らかの即時の手当および特別な治療が必要とされることの表示
対症療法を行う。

医師に対する特別な注意事項

この安全データシートを持参のこと。

項目5: 火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤：特定の状況に最も適した消火設備を選択してください。粉末、CO₂、散水（霧状）、または泡を使用してください。

不適切な消火剤：直射水流は使用しないでください。

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険有害性

製品自体に火災や爆発の特定の危険性はありません。

分解生成物にさらされると健康被害を引き起こす恐れがあります。密閉容器が火災にさらされた場合は、水で冷却してください。消火用水が下水道や河川に流れ込まないようにしてください。

火災時には有害な蒸気が放出される可能性があります。これらは以下の通りです：

一酸化炭素（CO）、二酸化炭素（CO₂）

窒素酸化物（NO_x）

5.3. 消防士に対する助言

ガス・煙・蒸気・ミストの吸入を避けてください。適切な距離から通常の方法で消火活動を行ってください。消防士用の特別な保護具：循環空気式ではない呼吸用保護具を使用し、化学防護服を着用してください。

項目6: 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

規定の個人用保護具を使用すること（第8項参照）。物質との接触を避けること。蒸気/ミストの吸入を避けること。火災時：その場から避難すること。

6.2. 環境に対する注意事項

湖、川、下水道などへの排出を防止する。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不燃性、吸収性物質で流出物を入れて収集します。砂、土、バーミキュライトまたは珪藻土を廃棄し、地元の規制に従って廃棄できるように容器に入れます。

洗浄は可能な限り、通常の洗浄剤で行う。溶剤の使用は避けること。

6.4. 他のセクションを参照

廃棄物取り扱いの追加情報に関してはセクション13を参照。

適切な個人保護装置に関する情報についてはセクション8を参照。

項目7: 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全に取扱うための注意事項

適切な個人用保護具を使用してください（セクション8を参照）。目、皮膚、衣服との接触を避けてください。蒸気やミストを吸い込まないでください。粉塵を吸い込まないでください。

製品の取り扱い、保管、加工を行う区域では、飲食や喫煙は禁止されています。飲食や喫煙の前に、手と顔を洗ってください。食品を取り扱う区域に入る前に、汚れた衣服や保護具を脱いでください。

7.2. あらゆる配合禁忌を含む、安全な保管条件

開封した容器は、漏れを防ぐために慎重に再び封じ、直立て保管する必要がある。無表示の容器に保管してはならない。

推奨保管材料

密封状態の良いオリジナル包装。

保管条件

乾燥、涼しい、十分な換気
日光から遮断すること。

混触危険物質

強酸化剤
強酸
強塩基

7.3. 特定の最終用途

この製品はセクション1.2で引用した応用のみに使用しなければならない。

項目8: ばく露防止及び保護措置

8.1. 許容濃度

職業ばく露限界のある物質の全国リストに記載されている物質はない。

8.2. 暴露の管理

不必要な被ばくを防ぐため、全般的な管理を行います。

一般的な推奨事項

作業場での喫煙、飲酒、食べ物の摂取は禁止する。

ばく露シナリオ

"この製品にはばく露シナリオは実装されていない。

暴露限界値

この製品の物質に対する職業ばく露限界は定義されていない。

適切な技術的管理

本製品の使用中には、標準的予防措置が適用されます。蒸気の吸入を避けます。

衛生対策

製品の使用の間と、作業日の終わりには、体のすべてのばく露部分を徹底的に洗浄する必要があります。手、前腕、顔には特に注意を払います。

環境暴露管理

環境や下水道への排出を避けてください。

個人の保護措置

一般的

CEマークが付いた保護具のみを使用すること。

呼吸用保護具



推奨フィルタの種類	クラス	クラス	標準
呼吸保護装置は必要ない			

身体保護具


推奨	タイプ / カテゴリ	標準
専用作業服	-	-



手の保護具

材料	手袋の厚さ (mm)	破過時間 (分)	標準	
ブチルゴム	> 0,64	≥480	EN-ISO 374 and/or ASTM F739	
ニトリルゴム	> 0,38	≥ 480	EN-ISO 374 and/or ASTM F739	

保護眼鏡/保護面

工事状況	推奨	標準	
スプラッシュ/間欠被爆のリスクが伴う時	サイドシールド付きの安全メガネを着用してください	ANSI Z87.1	

項目9: 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理学および化学的特性に関する情報

物理的状

ペースト

色

ペールイエロー

臭い

特性

臭気しきい値 (ppm)

利用可能なデータなし

pH

利用可能なデータなし

比重 (g/cm³)

1 (25 °C)

粘度

利用可能なデータなし

粒子特性

利用可能なデータなし

フェーズの変更

融点・凝固点 (°C)

利用可能なデータなし

軟化点/範囲 (°C)

利用可能なデータなし

沸点/沸騰範囲 (°C)

利用可能なデータなし

蒸気圧

利用可能なデータなし

蒸気密度

利用可能なデータなし

分解温度 (°C)

利用可能なデータなし

蒸発速度

利用可能なデータなし

火災および爆発の危険性に関するデータ

引火点 (°C)

利用可能なデータなし

引火性 (°C)

利用可能なデータなし.

自然発火温度 (°C)

利用可能なデータなし.

爆発 (燃焼) 限界の上限および下限 (% v/v)

利用可能なデータなし

溶解度

水中の溶解度

溶けない

分配係数 (LogKow)

利用可能なデータなし

脂肪の溶解度 (g/L)

利用可能なデータなし

9.2. その他の情報

揮発性有機化合物(VOC)

蒸発速度

利用可能なデータなし

その他の物理的および化学的パラメータ

利用可能なデータなし.

酸化特性

利用可能なデータなし

項目10: 安定性及び反応性

10.1. 反応性

利用可能なデータなし.

10.2. 化学的安定性

製品は「取り7扱いと保管」のセクションに記載されている条件下で安定している。

10.3. 危険有害反応可能性

不明。

10.4. 避けるべき条件

不明。

10.5. 混触危険物質

強酸化剤

強酸

強塩基

10.6. 危険有害な分解生成物

火災時には有害な蒸気が放出される可能性があります。これらは以下の通りです：

一酸化炭素 (CO)、二酸化炭素 (CO₂)

窒素酸化物 (NO_x)

項目11: 有害性情報

11.1. 毒物学的作用に関する情報

急性毒性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

刺激性/腐食性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

重篤な眼の損傷/刺激

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

呼吸器ま感作

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

皮膚感作

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

変異原性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

発がん性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

催奇形性 / 発育への影響

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露)

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

特定標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露)

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

呼吸に対する危険有害性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

健康への慢性効果の可能性

不明。

項目 12: 環境影響情報

12.1. 毒性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

12.2. 残留性・分解性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

12.3. 生体蓄積性

利用可能なデータに基づくと、分類基準は満たされていません。

12.4. 土壤中の移動性

利用可能なデータなし。

12.5. 12.5.PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物/製品には、PBTまたはvPvB、もしくはその両者として分類される基準を満たすと考慮される物質は含まれていない。

12.6. その他の悪影響

不明。

項目 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

製品は危険廃棄物に関する規制の対象外である。

特定のラベル

汚染された包装

製品の残渣を含む包装は製品と同様に処分する必要がある。

項目 14: 輸送上の注意

	14.1 国連番号	14.2 輸送固有名	14.3 範疇	14.4 PG*	14.5 Env**	その他の情報:
ADR/A DN/RID	-	-	-	-	-	-
IMDG	-	-	-	-	-	-
IATA	-	-	-	-	-	-

* 容器等級

** 環境有害性

追加情報

ADR/ADN/RID、IATAおよびIMDGによると危険物ではない。

14.6. 使用者のための特別な予防措置

該当なし。

14.7. MARPOL条約の附属書IIおよびIBCコードによるばら積み運搬

利用可能なデータなし。

項目15: 適用法令

15.1. 物質または混合物ごとに個別に関連する、安全、健康および環境に関する規則/法律

応用の制限

プロ専用（または：専門家による使用に限定）。

特定教育に対する要求

特定の要件なし。

その他の情報

該当なし。

既存および新規化学物質 (ENCS)

どの化学成分も表示されていない。

毒物及び劇物取締法

どの化学成分も表示されていない。

化管法 (PRTR)

どの化学成分も表示されていない。

有機溶剤中毒予防規則

どの化学成分も表示されていない。

労働安全衛生法 (ISHL)

どの化学成分も表示されていない。

ソース

GHSに基づく化学品の分類方法. JIS Z 7252 (2019)

GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS). JIS Z 7253 (2019)

項目16: その他の情報

セクション1に記載の識別された使用の全文

不明。

略語と頭字語

ACGIH = アメリカ産業衛生専門家会議

ADN = ヨーロッパ内陸水路危険物運送規定

ADR = ヨーロッパ道路危険物運送条約

ATE = 急性毒性見積

BCF = 生物濃縮係数

CAS = ケミカル・アブストラクト・サービス

EINECS = 欧州既存商業化学物質リスト

GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム

IARC = 国際がん研究機関

IATA = 国際航空運送協会

IMDG = 国際海上危険物規程

LogPow = オクタノール/水分配係数の対数

MARPOL = 1978年の議定書によって修正された1973年船舶による汚染防止のための国際条約

NIOSH = 国立労働安全衛生研究所

OECD = 経済協力開発機構

OSHA = 労働安全衛生局
RID = 鉄道による危険物の国際輸送に関する規制
RRN = REACH登録番号
SCL = には特定の濃度限界値 (SCL) がある。
STEL = 短期ばく露限界
STOT-RE = 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
STOT-SE = 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
TWA = 時間加重平均
UN = 国際連合
VOC = 揮発性有機化合物

追加情報

該当なし。

安全データシートは次により確認される

Goodpoint

その他

前回の主要なバージョン (バージョン番号の最初の数字、SDSのセクション1を参照) からの変更点は、三角形で記されています。

この安全データシートの情報はこの特定製品 (セクション1に記載) にのみ適用され、他の化学薬品/製品で使用する場合は必ずしも正しいものではない。

この安全データシートを、製品の実際の利用者に渡すことを推奨する。この安全データシートの情報は製品仕様としては使用できない。

国-言語 : JP-ja